

## 第2回行政改革推進委員会 会議要約

- 日 時 平成26年8月29日(金) 午後3時30分～午後5時25分
- 会 場 村上市役所 5階 第4会議室
- 出席者 行政改革推進委員会委員 10名  
総務課長、総務課参事、人事管理室員2名

(午後3:30開会)

- 1 開 会
- 2 会長挨拶

会長

ご多忙の中、ご出席していただき誠にありがとうございます。これから第2回行政改革推進委員会を開催いたします。

みなさんの柔軟な良い意見をいただきまして行政に反映していただければと考えております。よろしく願いいたします。

- 3 諮問

市から「村上市行政改革大綱後期実施計画の平成25年度進捗状況及び計画変更案に対する意見について」を諮問

- 4 協議

(1) 村上市行政改革大綱後期実施計画の平成25年度進捗状況及び計画変更案について【資料No.1】

「村上市行政改革大綱後期実施計画の平成25年度進捗状況及び計画変更案について【資料No.1】」を事務局が説明。

会長

事務局からの説明について意見、質問等ありましたらご発言をお願いします。

委員

意見と言われましたが、この膨大な資料をわずかな時間で読み取ることは困難だったので、今回は質疑を行い、次回に協議するものだと思いますが、今回から協議に入るのでしょうか。

会長

お忙しい中ですので、今回は疑問点等を出していただき、次回に進捗などに対する意見について協議を行う予定です。

ただし、協議の進捗状況によっては、会議の時間を設けていただくことの検討が必要になると考えます。

委員

未検討、未調査等が多数ありますが、主な要因は何でしょうか。

事務局

通常の業務に追われて取り組みを行う余裕が得れず、未実施、未検討等となったものです。

委員

取り組む項目が多数ある中、実施課としては計画的取り組みが必要であり、目標を立て実施したと思いますが、それでも尚かつこれだけの未実施等があったものでしょうか。

総務課長

この後期実施計画もそれぞれの課の業務の一つですが、通常の業務に追われてこの計画に取り組むのに時間を費やしているのが現状です。

本来であれば、行革を進めることによって業務の効率化が図られ、自分たちのためのもになりますが、目先の業務に追われてしまうのが実情です。

そういった部分は委員に意見をいただきながら改善していきたいと考えております。

委員

この委員会の今後の協議としてC、D評価の取り組みのものを討議して、全体のランクを上げることなのか、この中の一部の項目を取り上げて、それを討議して改善させることなのか、絞り込んでいく必要があると思います。

事務局

この後の資料にて提案させていただいておりますが、事務局としては項目を絞らず、全体を通しての意見をいただきたいと考えております。

ただ、委員として各個別項目に対しても意見があると思いますので、それは個別に意見を出していただきたいと考えております。

委員

今回の概要の説明だけでは項目全体の問題点を把握することは困難と感じました。

会長

項目全てを網羅したいと言うことはもっともだと思います。市としても全てのレベルアップが目標だと思いますので、解決策等を委員会として意見を出していくべきだと思います。

委員

私も先の委員の発言にあるように、あまりにも項目数が多く、内容が多岐にわたっていますので、どういった意見を出すべきなのか、どういった協議になるのか不安を感じていました。

市から緊急性の高いもの、市民に直接影響を及ぼすもの等、優先順位の高いものを個別具体的に提案していただき、委員会としてそれに対する意見を出してまとめた方が市民にも分かりやすく、受けやすいのではないかと考えます。

会長

私もそう言った意見を出そうと思っておりました。

一つひとつ解決していくことは大事なことです、項目に優先順位を付けることは重要なことだと思います。

委員

C、Dの評価をしている実施課が偏っています。本当に問題意識をもって評価した結果によるものでしょうか。

この報告書だけでは見えてこないのでお伺いします。

総務課長

それぞれ目標を掲げて、問題意識をもって取り組んでいますので、項目によってはハードルの差があるものはありますが、一概に問題意識のないまま評価を行ったものはないと考えます。

会長

確かにハードルに高いものがあり、多岐の要因を解決しながら取り組む項目、人員が必要なもの、費用を要するものが多いと思います。

それらを突き詰めていくと何を先にやるべきか等、優先順位にも絡んでくることだと思います。

委員

職務怠慢による未実施等ではないと思いますので、その要因を突き詰めたほうが良いと思います。

会長

各課でそれぞれある問題点を挙げさせると多々出てくると思います。それを各課で責任を持って努力し、評価を上げなさいといふこの結果になると思います。

市全体として取り組むことが平準化し、膨大になっており、どれをどうやっていけば良いのか分からず、それぞれ自分の課のことを責任を持って行わなければならないため、他の課との連携していくことが出来なくなっていることが要因と思います。

やはり、市全体でどれに取り組むか大きな下によって、実施すれば改善されると思います。

委員

各取組項目だけではなく、もう少し大きな括りでのまとめのものが必要です。

そのまとめには、行政改革の主旨の一つとして財政の縮小に取り組んでいますので、その縮小して得たものを他の費用を要するどの項目に反映して取り組んだかなどの記載等も有れば分かりやすいものとなります。

委員

内部評価の時期はいつ頃行ったのでしょうか。

事務局

今年度は、これまでと同様に年度を超えてから前年度の取り組みに対して実施課で評価し、8月に開催した行財政改革推進本部にて内部評価が確定いたしました。

#### 委員

評価をまとめて次年度に行うということがC、D評価という結果に繋がることの要因の一つだと考えます。

目標を達成するためのプロセスが重要だと思いますので、四半期・中間など小まめなチェック、評価及び検証体制にして進捗状況を把握し、状況を確認しながら推進すれば、その期間内に遅れを取り戻す算段が立ち、未実施等の項目も減少すると考えます。

評価の仕方も変えていく必要があると思います。

#### 委員

この報告書を見て感じたことは、目標自体が全て費用等を下げることであり、それに向かって各課が取り組んでいます。

事業として予算を増額してでもしなければいけないものが必ず有りますが、これを見る限り下げるものばかりで、その下げたことによるものでしか評価されていません。

実施課として予算を費やしてもやらなければいけないことが見えてきません。

この委員会でどういったものを出すのかにもよりますが、市として何が大事なのがこの報告書には出てきていません。

#### 委員

意見を出すにはこの資料だけでは分からないと感じましたし、この資料だけでは市としてどこに向かって、どこに力を入れ行くのかが見えません。

それと全体を底上げするための意見など、この委員会でどのように協議していくのが分からないと感じました。

また、C、Dの評価の中で出来ない様なものは廃止してもいいのではないかと感じました。

#### 会長

計画変更にて項目を廃止するというのも一つの手でありますので、今後の課題の中で取り入れていければいいと思います。

#### 委員

この立派な資料、報告書を作成する時間を他の所に向ければ、もっと取り組みが進むのではないかと感じました。

各項目はどのようになってこの評価になったのか見えてきませんでしたので、アドバイス等の意見を出すのが難しいです。

全ての項目を均等に行うことは困難ですので優先順位を付けて取り組んだ方がいいと思いました。

#### 会長

同じような意見が出ており、多くは優先順位を付けて行くことになると思います。

#### 総務課長

それぞれ委員から意見をいただきましたので参考にさせていただきたいと思います。

二つ整理しますと、これだけの資料を全て網羅することは時間的にも難しく、全てを評価することは出来ないと思いますので、委員として自分に関わりがあるもの、分かるもの、得意なものなどをピックアップして意見を出す方法で良いかと思っています。

全体の意見としては、自分が見た範囲で感じたことなどを出すという方法でいいのではないかと思います。

また、市が行わなければならないものは、市の最上位計画である第一次総合計画に登載されており、この計画は総合計画を実現するためのツールとして財政基盤を堅持することを中心とし、市の業務・事業のうち、改革、改善することにより効率化を図られるものをこの計画に登載しておりますので、ご理解をいただきたいと思います。

会長

みなさまに発言をいただきましたので次に入ります。

意見の取りまとめ方法について事務局から説明をお願いします。

## (2) 委員の意見の取りまとめ及び答申の方法について【資料No.2】

「委員の意見の取りまとめ及び答申の方法について【資料No.2】」を事務局が説明。

会長

優先順位を付けて的を絞る等、共通した意見が出そろった感じがしますが、そのあたりはどうすればよろしいでしょうか。

総務課長

この委員会の協議の仕方などについては今後改善の検討をいたしますが、この計画の進捗状況、計画変更案についていろいろ各委員から意見は出てはいますが、持ち帰っていただき委員の個々の意見をいただきたいと考えております。

優先順位の件については、今すぐ順位付けが出来るようなものではありませんので、次年度の検討課題とさせていただきたいと思います。

会長

それでは、先に課長が言われたとおり、自分が携わったことがある等、関連のある項目についてはそれぞれ意見が出ると思いますのでその方法でよろしいでしょうか。

ただ、意見の方向性はある程度定める必要があると思いますが、前回の答申はどのようにしておりましたでしょうか。

事務局

第1回委員会の「参考資料No.2」でお示ししております。

委員

先ほど総合計画の話がありましたが、この後期実施計画で記載されている縮減額目標値は総合計画に登載されている事業に充てるように数値を組まれたものなののでしょうか。

事務局

総合計画においての必要額をもって目標値を設定したものではなく、普通交付税の合併算定特例の終了に向け、全体的なコストの縮減に向かわなければいけないものとしての目標となっております。

委員

この計画以外の市の全体に対すること等についても意見、疑問を出してよろしいのでしょうか。

総務課長

市の行政、業務に対して意見がある場合は出していただいても結構ですが、この計画に対するものでないものでしたら答申からは外すことになると思います。

委員

行政の方からこの項目について意見を聞きたいというものはありますか。

事務局

こちらから主導的に出すことは委員会としての自由な選択の妨げになる場合もありますので、委員会で決めていただいた方がいいと思います。

委員

質問ですが、整理番号2の「職員定員適正化」の取り組みについての実績値ですが、人数的には目標値より若干の減ですが、額はより大幅に減額となっております。この要因は何でしょうか。

事務局

目標値は、平成24年度の人件費の平均に減少予定人員を乗じたものであり、実績値は退職者の人件費と新規採用者の人件費を差し引いたものとなっています。

単価の高い退職者と単価の低い新規採用者との比較となることから、実績値は目標値と大きく乖離した要因の一つとなっています。

委員

前回の答申でも大まかな意見が出ていますので、これを参考にして意見を出しても良いと思います。

会長

意見の出し方については、前回の答申でも大まかな意見が出ていますので、全体を通した意見はこれを参考にし、個別については、自分の関連、関心のある取り組みなどについて意見がある場合は出していただくことにしてよろしいでしょうか。

(了承)

5 その他

(なし)

6 次回の日程について

日 時：平成26年10月2日（木） 2：00 ～

会長

慎重審議ありがとうございました。

項目が多岐にわたって審議するのが大変だと思いますが、これがこの委員会の役目だと思いますので  
よろしく願いいたします。

本日はありがとうございました。

## 7 閉 会

(午後 5 : 2 5 閉会)

以上、第 2 回行政改革推進委員会会議要約の内容が、正確であることを証明するため、ここに署名する。

平成 2 6 年 9 月 1 2 日

会 長 松 本 豊 印